

左の かずに 上の かずを たして、5かい たしざんを しましょう。
タイムも はかり、ただしく はやく できるように なりましょう。

①

+	3	8	2	5	7
1					

() びょう

②

+	1	4	0	6	5
3					

() びょう

③

+	5	2	1	3	4
4					

() びょう

④

+	6	3	0	4	7
2					

() びょう

⑤

+	2	1	3	4	0
5					

() びょう

⑥

+	5	2	3	4	1
4					

() びょう

⑦

+	1	0	6	1	4
3					

() びょう

⑧

+	3	1	2	3	0
6					

() びょう



ここからSS-080まで、一年生の計算問題のおさらいとなる「ます計算プリント」です。まずはくり上がりのないたし算です。コピーをとって繰り返しおこない、得点とタイムの伸びを実感しましょう。

左の かずに 上の かずを たして、5かい たしざんを しましょう。
タイムも はかり、ただしく はやく できるように なりましょう。

①

+	5	7	9	8	4
6					

() びょう

②

+	3	6	5	4	7
8					

() びょう

③

+	6	4	3	4	9
9					

() びょう

④

+	5	8	6	9	7
5					

() びょう

⑤

+	5	7	3	9	8
7					

() びょう

⑥

+	9	7	6	5	4
6					

() びょう

⑦

+	6	8	5	7	9
5					

() びょう

⑧

+	8	5	6	9	7
7					

() びょう



前のプリントに続き五ますたし算ですが、このプリントはくり上がりのあるたし算になっています。すらすらできない場合はSS-053からSS-056を復習しましょう。

左の かずから 上の かずを ひいて、5かい ひきざんを しましょう。
タイムも はかり、ただしく はやく できるように なりましょう。

①

—	4	1	2	3	7
8					

() びょう

②

—	1	0	3	2	4
5					

() びょう

③

—	3	4	1	2	5
7					

() びょう

④

—	4	1	3	5	0
6					

() びょう

⑤

—	2	7	5	8	3
9					

() びょう

⑥

—	1	0	6	2	5
7					

() びょう

⑦

—	5	1	4	0	2
6					

() びょう

⑧

—	7	5	0	4	3
8					

() びょう



くり下がりのないひき算の五ます計算です。ひき算の基本になる問題ですから、間違わずにできるように
なるまで、繰り返しおこなってください。

左の かずから 上の かずを ひいて、5かい ひきざんを しましょう。
タイムも はかり、ただしく はやく できるように なりましょう。

①

—	5	4	7	8	6
12					

() びょう

②

—	7	9	8	7	9
16					

() びょう

③

—	5	9	7	4	3
11					

() びょう

④

—	6	7	5	8	9
14					

() びょう

⑤

—	8	7	6	9	8
15					

() びょう

⑥

—	5	7	9	8	4
13					

() びょう

⑦

—	5	3	7	9	6
12					

() びょう

⑧

—	8	2	6	9	4
11					

() びょう



くり下がりのあるひき算の五ます計算です。くり下がりのひき算は一年生の算数でもっともつまづきやすいポイントです。すらすらできないようなら、SS-063からSS-066のプリントを復習しましょう。

左の かずに 上の かずを たして、25かい たしざんを しましょう。
1ふんまでに、ただしく できれば、ごうかくです。

①

+	9	5	0	8	2
8					
6					
2					
4					
1					

() びょう

②

+	3	7	4	6	1
5					
9					
0					
7					
3					

() びょう

③

+	2	8	9	0	5
7					
9					
0					
3					
5					

() びょう

④

+	4	6	3	1	7
6					
8					
2					
1					
4					

() びょう



たし算の二十五ます計算です。五ますたし算や、十ますたし算 (SS-057、SS-058) ができるようになってからチャレンジしてください。ます計算の学習は、段階的にますの数を増やし、「できる実感」を積み重ねることも大切です。

上の かずから、左の かずを ひいて、25かい ひきざんを しましょう。
1ふんまでに、ただしく できれば、ごうかくです。

①

—	15	11	12	18	17
5					
1					
8					
2					
9					

() びょう

②

—	16	19	14	10	13
6					
3					
0					
7					
4					

() びょう

③

—	12	17	11	15	18
7					
3					
6					
0					
4					

() びょう

④

—	14	13	19	16	10
1					
8					
5					
9					
2					

() びょう



ひき算の二十五ます計算です。たし算同様、五ますひき算や、十ますひき算 (SS-068、SS-069) ができるようになってからチャレンジしてください。毎日タイムを計り、前日より正しく、早くできるようにしましょう。

左の かずに 上の かずを たして、50かい たしざんを しましょう。
1ふん30びょうまでに、ただしく できれば、ごうかくです。

①

+	7	5	8	2	1	9	0	6	4	3
8										
3										
6										
1										
5										

() ふん () びょう

②

+	3	5	8	1	9	6	4	7	0	2
9										
7										
2										
4										
0										

() ふん () びょう



たし算の五十ます計算です。二十五ます計算がスムーズにできるようになってから取り組むようにしてください。目標タイムに近づけるよう、毎日繰り返して学習しましょう。

上の かずから、左の かずを ひいて、50かい ひきざんを しましょう。
1ふん30びょうまでに、ただしく できれば、ごうかくです。

①

—	11	10	15	13	19	18	12	17	16	14
6										
0										
3										
5										
9										

() ふん () びょう

②

—	13	14	11	18	15	17	19	10	16	12
1										
8										
4										
7										
2										

() ふん () びょう



ひき算の五十ます計算です。たし算同様、二十五ます計算が無理なくできるようになってからチャレンジしてください。

左の かずに、上の かずを たして、100かい たしざんを しましょう。
3.ふんまでに、ただしく できれば、ごうかくです。

+	5	8	1	6	4	7	0	3	9	2
6										
2										
3										
9										
0										
5										
1										
7										
4										
8										

() ふん () びょう



一年生の計算学習がすべてできるようになったら、この百ます計算に挑戦しましょう。くり上がりのあるたし算がすらすらできるようになると、二年生以降で習う2けた以上のかけ算でつまずきにくくなります。

上の かずから、左の かずを ひいて、100かい ひきざんを しましょう。
3ふんまでに、ただしく できれば、ごうかくです。

—	11	16	10	14	17	19	13	18	12	15
5										
2										
1										
4										
8										
9										
3										
0										
7										
6										

() ふん () びょう



おうち
のかたへ

ひき算の百ます計算です。より早く、より正しくできるよう、毎日続けることが大切です。くり下がりのあるひき算の計算ミスがなくなると、三年生で習うわり算でつまずきにくくなります。